

卒業の認定に関する方針

【ディプロマポリシー】

東京スクール・オブ・ビジネスは、専門学校として常に各業界並びに地域社会の職業人に対するニーズを前向きに捉えながら、近時ますます進展する情報化、グローバル化に伴い変転してやまない社会に即応できる知識、技能の修得を教育の目標としています。そして、専門教育で学んだ知識を実践で生かすことで、実践者として学んできた専門知識をより深く体得することでできる人材の育成をその意義としています。

【卒業要件】

卒業には、次の条件を全て満たすことが必要です。①卒業認定の規定による単位取得がなされていること。②職業人として社会での役割を果たせる能力・人間的特性をもっていること ③所定の学費を完納していること

【卒業に必要な単位数と特例措置】

原則として専門士の場合は必修科目60単位（3年制は90単位）とします。ただし特例として、必要単位数の40%を超えない範囲で、振替科目を単位認定することができます。

【進級・卒業】

1年修了時に、総取得単位数が18単位未満の者、または必修科目の取得単位数が6単位未満の者、該当学年の学費が完納されていない者は、これを留年とします。2年修了時に、総取得単位数が45単位以上60単位未満の者で、必修単位数が21単位以上の場合は、半期留年とします。また、総取得単位数が45単位未満、または必修科目の取得単位数が21単位未満の者は、1年留年とします。 専門学校東京スクール・オブ・ビジネス

専門学校東京スクール・オブ・ビジネス

